

- 問1 飛鳥・奈良時代に行われた遣隋使や遣唐使の派遣に関連して、当時の外交や国内政策の状況を正しく説明しているものはどれか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 全国的な戸籍を作成して土地と人民を直接支配するため、中国の徴税制度をそのまま模倣して実施した。 | 2. 菅原道真の建議によって遣唐使を停止するまで、日本は一貫して中国に対して臣下の礼をとり続けた。 | 3. 小野妹子などの使節を派遣し、大陸の進んだ制度を吸収して国家の仕組みを整えようとした。 | 4. 遣隋使の派遣によって得た技術を用い、聖武天皇が全国に国分寺を建てて社会の混乱を鎮めようとした。 |
|--|---|---|--|
- 問2 聖徳太子が定めた「十七条の憲法」には、仏教の「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」に加え、孔子の説いた儒教の思想に基づいた記述が多く見られます。当時の日本の政治状況において、儒教の考え方を法令に取り入れた主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 遣隋使の派遣を停止し、日本独自の文化を形成するため | 2. 武士の台頭に備え、軍事力の強化を図るための精神的支柱とするため | 3. 庶民に対して厳しい罰則を設け、社会の犯罪を抑制するため | 4. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため |
|------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
- 問3 7世紀初め、推古天皇の摂政として政治を行い、家柄にとらわれず才能や功績のある人物を役人に登用する「冠位十二階」や、役人が守るべき道徳的な心得を記した「十七条の憲法」を定めた人物は誰か。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 後醍醐天皇 | 3. 徳川綱吉 | 4. 大久保利通 |
|---------|----------|---------|----------|
- 問4 聖徳太子が十七条の憲法を制定したり、法隆寺を建立して仏教を保護したりした政治的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|
| 1. 厳しい身分制度を廃止し、一般の民衆が自由に政治に参加できる環境を作るため | 2. 豪族たちが争う状況を改め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため | 3. 海外との貿易を独占し、金や銀などの貴重な資源を幕府の財源とするため | 4. 武士の台頭を抑え、地方の政治を国司ではなく貴族に任せる仕組みを作るため |
|---|--|--------------------------------------|--|
- 問5 中大兄皇子が中心となって進めた「大化の改新」において、目指された政治体制の説明として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 武士が政治の実権を握り、幕府によって全国の土地を管理する体制 | 2. 土地と人々を国家が直接支配する公地公民の原則に基づく、天皇中心の中央集権体制 | 3. 有力な豪族が各地を分割して支配し、天皇がその調整役を担う体制 | 4. 仏教の力を借りて、全国に国分寺を建てることで地方の安定を図る体制 |
|-----------------------------------|---|-----------------------------------|-------------------------------------|
- 問6 聖徳太子の時代に栄えた、日本で最初の本格的な仏教文化である飛鳥文化の説明として、正しいものを選んでください。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 唐の文化の影響を強く受け、貴族の間で極楽浄土へ行くことを願う浄土信仰が流行した | 2. 東大寺の正倉院に代表されるような、インドやペルシャの文化が融合した国際色豊かな文化であった | 3. 武士の台頭を背景として、運慶らの手によって力強い写実的な彫刻が数多く作られた | 4. 中国や朝鮮半島の技術を学んだ渡来人の協力により、仏像制作や寺院建築が行われた |
|--|--|---|---|
- 問7 6世紀に日本へ仏教を伝えた朝鮮半島の国であり、のちに唐と新羅の連合軍によって滅ぼされた国はどこか。この国が滅亡した際、日本はその再興を支援するために大軍を朝鮮半島へ派遣しました。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 高句麗 | 2. 百済 | 3. 新羅 | 4. 高麗 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問8 7世紀の飛鳥時代、聖徳太子（厩戸王）によって現在の奈良県に建立され、現存する世界最古の木造建築物として知られる寺院を選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 東大寺 | 2. 法隆寺 | 3. 四天王寺 | 4. 延暦寺 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問9 7世紀の年表において「現存する世界最古の木造建築物」と説明される寺院の歴史的な背景について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 鑑真が来日した際に建立され、当時の唐の最新の建築様式を取り入れたことで知られている。 | 2. 聖武天皇の命により建立され、国ごとに置かれた国分寺を統括する総本山としての役割を担った。 | 3. 聖徳太子によって建立され、当時の大陸の影響を強く受けた飛鳥文化の特色を今に伝えている。 | 4. 藤原頼通が極楽浄土を再現するために建立し、平安時代に栄えた国風文化の代表的な建築物となった。 |
|---|---|--|---|
- 問10 飛鳥時代の対外関係について記した記録において、小野妹子が遣隋使として派遣された際、日本（倭）が隋に対して求めた外交上の姿勢や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 中国の皇帝から倭王としての称号と金印を授かること | 2. 朝鮮半島での戦いを有利に進めるための軍事支援を依頼すること | 3. 中国の皇帝に対し、対等な地位での外交関係を求めること | 4. 仏教を日本へ正式に伝来させるための許可を得ること |
|-----------------------------|----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
- 問11 7世紀の日本が遣隋使の派遣や大化の改新を経て、急速に律令制度を導入し、中央集権体制を確立しようとした背景について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 元の襲来（元寇）を受けた経験から、九州沿岸の警備を強化するために中央から地方へ命令を伝える仕組みを整えたため。 | 2. 承久の乱によって朝廷の権威が失墜したため、天皇の力を再び強めるための新しい法律が必要になったため。 | 3. 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことで、対外的な脅威に対抗できる強力な国家体制を築く必要があったため。 | 4. 建武の新政において、公家と武士の双方を納得させるための新しい裁判基準を定める必要があったため。 |
|--|--|---|--|
- 問12 7世紀半ば、朝鮮半島では新羅が唐と結んで勢力を広げ、百済を滅ぼしました。これを受けて、当時の日本（倭国）がとった行動とその結果として正しいものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 高句麗の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。 | 2. 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。 | 3. 唐と結んで朝鮮半島での権益を確保しようとしたが、白村江の戦いで新羅の軍勢に敗北した。 | 4. 元（モンゴル帝国）の侵攻を阻止するために朝鮮半島へ出兵したが、文永の役で大敗を喫した。 |
|---|--|---|--|
- 問13 飛鳥時代の天武天皇の時代にあたる7世紀後半につくられたことが判明し、708年に発行された和同開珎よりも古い、現時点で日本最古とされる銅銭の名称を次の中から選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 和同開珎 | 2. 富本銭 | 3. 寛永通宝 | 4. 永樂通宝 |
|---------|--------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 小野妹子などの使節を派遣し、大陸の進んだ制度を吸収して国家の仕組みを整えようとした。	遣隋使や遣唐使は、高度な文明を持っていた中国から法律、官僚制度、仏教などの文化を吸収するために組織されました。聖武天皇による東大寺の大仏建立や国分寺の建立は奈良時代の中期であり、遣隋使の開始時期とは異なります。また、全国的な戸籍作成（庚午年籍など）は国内統治の進展を示すものですが、使節派遣の直接的な目的そのものではありません。
問2	答え 4 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇に対する忠誠や秩序を保つため	十七条の憲法は、一般市民に向けた刑法ではなく、朝廷に仕える役人（当時の豪族）の政治的な心得を説いたものです。当時は豪族同士の争いが絶えなかったため、儒教が説く「君臣の義」や「礼」の概念を導入することで、天皇を頂点とした上下関係を明確にし、国家組織としてのまとまりを強化しようとした。このため、和を尊重することや、私心を捨てて公務に励むことなどが強調されています。
問3	答え 1 聖徳太子	推古天皇を助ける摂政として活躍したこの人物は、中国の進んだ制度を取り入れることで、天皇を中心とした中央集権的な国家体制の基盤を築こうとしました。これは後の律令国家形成に向けた重要な一歩となりました。
問4	答え 2 豪族たちが争う状況を改め、天皇を中心とした中央集権的な国家体制を整えるため	当時の日本は有力な豪族が勢力を争っており、国家としてのまとまりが不十分でした。聖徳太子は仏教の教えや十七条の憲法を通じて役人の心得を説き、さらに冠位十二階によって才能ある人材を登用することで、天皇を中心とした組織的な政治制度を構築しようとした。これにより、日本の国家基盤を固める狙いがありました。
問5	答え 2 土地と人々を国家が直接支配する公地公民の原則に基づく、天皇中心の中央集権体制	それまでは蘇我氏のような有力豪族が強大な権力を持っていましたが、中大兄皇子は中国（唐）の制度を参考に、天皇が全国を直接支配する仕組みを整えようとした。この改革の基本方針は、646年に出された「改新の詔」によって示されました。
問6	答え 4 中国や朝鮮半島の技術を学んだ渡来人の協力により、仏像制作や寺院建築が行われた	飛鳥文化は、大陸からの渡来人がもたらした最新の技術や文化を基盤としています。聖徳太子が建立した法隆寺の建築や仏像などは、当時の中国（南北朝時代）や朝鮮半島の様式の影響を強く受けており、日本における仏教芸術の出発点となりました。浄土信仰は平安時代、正倉院に代表される天平文化は奈良時代、武士の文化は鎌倉時代以降の特徴です。
問7	答え 2 百済	538年（または552年）に聖明王を通じて日本に仏教を伝えたことで知られる国です。7世紀に入り、朝鮮半島の統一を目指す新羅が唐と結んだことにより、660年に滅ぼされました。日本と密接な外交関係にあったため、当時の日本政府は遺民とともに国の再興を試みましたが、白村江の戦いでの敗北により失敗に終わりました。
問8	答え 2 法隆寺	聖徳太子は推古天皇の摂政として仏教を厚く保護し、国づくりの中心に据えました。法隆寺は飛鳥文化を代表する建築物であり、1993年には日本で初めての世界文化遺産の一つとして登録されました。選択肢の四天王寺も聖徳太子による建立ですが、世界最古の木造建築として現存しているのは法隆寺です。
問9	答え 3 聖徳太子によって建立され、当時の大陸の影響を強く受けた飛鳥文化の特色を今に伝えている。	法隆寺は推古天皇の摂政であった聖徳太子（厩戸王）ゆかりの寺院であり、飛鳥時代の仏教文化（飛鳥文化）を象徴する存在です。飛鳥文化は、中国の南北朝時代の文化や、朝鮮半島の百済、高句麗からの渡来人の技術が融合した日本初の本格的な仏教文化であり、法隆寺の建築様式にはその影響が色濃く残っています。
問10	答え 3 中国の皇帝に対し、対等な地位での外交関係を求めること	聖徳太子が小野妹子に持たせた国書には「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す…」と記されていました。これは、これまでの中国を中心とした冊封体制（中国の皇帝の部下として認められる形式）から抜け出し、日本と隋が対等な立場であることを示そうとしたものです。当時の隋の皇帝・煬帝はこの文言を見て不快感を示しましたが、北方の勢力に対抗するために日本との関係を断つことはしませんでした。
問11	答え 3 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れたことで、対外的な脅威に対抗できる強力な国家体制を築く必要があったため。	663年の白村江の戦いでの大敗は、日本に唐などの強大な勢力による侵攻の危機感を与えました。これに対抗するため、土地と人民を国家が直接支配する「公地公民」を原則とする律令体制を整え、国力を結集できる仕組みを急いで作る必要があったのです。
問12	答え 2 百済の再興を支援するために朝鮮半島へ大軍を送ったが、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗した。	当時の朝鮮半島では、唐と新羅が連合して百済や高句麗を圧迫していました。660年に百済が滅亡すると、日本は古くから交流のあった百済の再興を助けるために朝鮮半島へ出兵しました。しかし、663年に錦江の河口付近（白村江）で行われた戦いにおいて、唐・新羅の連合軍に圧倒的な軍事力の差で敗れました。これにより、日本は朝鮮半島における拠点を完全に失うこととなりました。
問13	答え 2 富本銭	長らく708年発行の和同開珎が日本最古の貨幣とされてきましたが、1990年代に奈良県の飛鳥池遺跡から大量の銅銭や鋳型が発見されたことにより、それより古い7世紀後半にはすでにこの貨幣が製造されていたことが実証されました。これにより、日本貨幣史の定説が塗り替えられました。